

昭和十三、四年度東洋史研究文獻類目

昭和十五年九月編

目次

例言

收錄雜誌論集目

分類表

類目 日本支那之部

著者索引

類目 歐米之部

昭和十三、四年度東洋史研究文獻類目

昭和十五年九月編

江苏工业学院图书馆
藏书章

收錄雜誌論集目

(細註の卷、號數の右行は昭和十三年、民國二十七年刊行のもの、左行は昭和十四年、民國二十八年刊行のものとす)

日本之部

- 愛書 十輯、十一輯 (臺北、臺灣愛書會刊)
- 以可留我 一卷七輯、八輯 (奈良、法隆寺、鶴故郷舍刊)
- イスラム 二輯、三輯 (東京、イスラム文化協會刊)
- 瓜茄 五輯 (京都、奥村伊九良刊)
- 叡山學報 十六輯 (大津、叡山學會刊)
- 鴨臺史報 第六輯 (東京、大正大學史學會刊)
- 大谷學報 十九卷一號—四號 (京都、大谷大學内、大谷學會刊)
- 回教園 第一卷、第二卷、第三卷 (東京、回教園攷究所刊)
- 回教事情 一卷一號—三號 (東京、外務省調査部編、改造社刊)
- 外交時報 八十五卷—八十八卷 (東京、外交時報社刊)
- 改造 二十卷一號—十二號 (東京、改造社刊)
- 貝塚 一號—十三號 (東京考古學會刊)
- 懷德 十六號 (大阪、懷德堂友會刊)
- 科學知識 十八卷一號—十二號 (東京、科學知識普及會刊)
- 學叢 六號—八號 (東京、木曜會刊)
- 畫說 三卷一號—十二號 (東京美術研究所刊)

- 漢學會雜誌 六卷一號—三號 (東京帝國大學文學部支那哲)
- 漢文學會々報 四輯 (東京、國學院大學漢文學會刊)
- 京城帝大史學會誌 十二號、十三號、十四號、十五號 (京城帝大史學會刊)
- 言語と文學 (終刊) 三輯 (臺北帝國大學文政學部刊)
- 建築學會論文集 八號—十一號 (東京、建築學會刊)
- 建築雜誌 五十二輯一號—十二號 (東京、建築學會刊)
- 考古學 九卷一號—十二號 (大阪、東京考古學會刊)
- 考古學雜誌 二十八卷一號—十二號 (考古學會編、東京、吉川弘文館刊)
- 考古學論叢 四輯(十二年)七輯—九輯 (京都、考古學研究會刊)
- 國華 四十八編一冊—十二冊 (東京、國華社刊)
- 國學院雜誌 四十四卷一號—十二號 (東京、國學院大學刊)
- 國史學 三十四—三十六輯 (東京、國學院大學内國史學會刊)
- 國民精神文化研究 四十冊—四十二冊 (東京、國民精神文化研究所刊)
- 支那 二十九卷一號—十二號 (東京、東亞同文會刊)
- 支那學 九卷三號、四號 (支那學社編、京都、弘文堂刊)
- 支那學研究論叢 一輯 (東京、支那學研究會刊)
- 支那研究 四十六號—四十八號 (上海、東亞同文書院支那研究部刊)
- 支那語研究 二號、三號 (丹波市、天理外國語學校崑崙會刊)
- 支那佛教史學 二卷一號—四號 (支那佛教史學會編、京都、法藏館刊)
- 史苑 十一卷三號、四號、十二卷一號、二號 (東京、立教大學史學會刊)
- 史淵 十八輯、十九輯 (九州帝國大學法文學部史學研究室内九大史學會刊)
- 史學 十六卷四號、十七卷一號、二號、三號、四號、十八卷一號—三號 (東京、慶應義塾大學文)

例 言

一、本類目は當研究所藏する所にして昭和十三、四年（民國二十七、八年・西紀一九三八、九年）の日付を有する雜誌・論集中に收められたる東方文化研究に關する諸論文を類別載録せるものなり。

二、昭和十二年の日付を有する雜誌・論集にして「昭和十二年度研究文獻類目」に未收録のものをも併せ録し、收録雜誌・論集目に於て之を明かにせり。

三、日本支那之部及歐米之部に分ち、夫々論題の首に序數を附し著者索引よりの檢索に便ならしめたり。

四、批評紹介をも併せ録したるが、本冊採録論文に關するものの他は、日本支那之部に於ては之を一括して附録とし、歐米之部に於ては之を第二部とし批評紹介者を括弧に入れ著者の前に置きて區別せり。

昭和十五年九月

史學研究 九卷三號、十卷一號、二號 (廣島文理科大學內、)

史學雜誌 四十九號、五十號、五十一號、五十二號 (東京帝國大學文學部史、)

史觀 十四冊、十七冊 (東京、早稻田大學文學部刊)

史潮 八年一號、四號 (東京文理科大學內、大塚史學會刊)

史林 二十三卷一號、四號 (京都帝國大學文學部內、史學研究會刊)

自然 七號 (上海自然科學研究所俱樂部學藝部刊)

思想 二百號、二百一號、二百二號、二百三號 (東京、岩波書店刊)

斯文 二十一編 (東京、斯文會刊)

椎園 三輯、四輯 (川瀨一馬編、東京、安田文庫刊)

社會經濟史學 七卷十號、八卷一號、九號 (東京、社會經、)

上海自然科學研究所彙報 九卷一號、十二號 (同所刊)

收書月報 二十四號、三十五號 (滿鐵、奉天圖書館刊)

書苑 二卷一號、三卷一號、三卷二號、三卷三號 (東京、三省堂刊)

書香 百二號、百九號 (滿鐵、大連圖書館刊)

書誌學 十二卷一號、十三卷一號、十三卷二號 (東京、日本書誌學會刊)

人類學雜誌 五十三卷一號、五十四卷一號、五十四卷二號 (東京帝國大學理學部人類學、)

人類學叢刊 乙先史學 一冊、二冊 (東京人類學會刊)

青丘學叢 三十號 (終刊) (京城、青丘學會刊)

善隣協會調查月報 六十八號、六十九號、七十號、七十一號 (改題)(東京、善隣協會刊)

禪學研究 二十八號、二十九號、三十號、三十一號、三十二號 (京都、臨濟學院專門學、)

大正大學學報 二十八號、二十九號 (東京、大正大學出版部刊)

大東文化 十八號、十九號、二十號 (終刊) (東京、大東文化學院編輯部刊)

大東文化學報 一輯 (東京、大東文化學院內大東文化研究會刊)

臺大文學 四卷一號、五號 (臺北帝國大學內、臺大文學會刊)

臺北帝國大學文政學部史學部研究年報 五輯 (同學部刊)

地理學評論 十四卷一號、十五卷一號、十五卷二號 (東京帝國大學理學部地理學、)

地理教育 二十七卷四號、二十九卷三號 (東京、地理教、)

地理論叢 第九輯 (昭和十二年) (京都帝國大學文學部地理學、)

智山學報 新十二卷、十三卷 (東京、智山專門學校內智山學會刊)

中央公論 五十四年一號、五十四年二號 (東京、中央公論社刊)

中國文學月報 三十四號、三十五號、三十六號、三十七號 (東京、中國文學研究會刊)

朝鮮 二百七十二號、二百八十三號、二百八十四號、二百九十四號 (京城、朝鮮總督府刊)

哲學研究 二十四卷一號、十二號 (京都帝國大學文學部內京都哲學會刊)

陶磁 十一卷一號、四號 (東京、東洋陶磁研究所刊)

天文月報 三十一卷一號、三十二卷一號、三十二卷二號 (東京、日本天文學會刊)

東亞 十一卷一號、十二卷一號、十二卷二號 (東京、東亞經濟調查局刊)

東亞醫學研究 二輯 (奉天醫科大學內東亞醫學研究會刊)

東亞經濟研究 二十二卷一號、二十三卷一號、二十三卷二號 (山口高等商業學校內、)

東亞研究所報 一號、四號 (東京、東亞研究所刊)

東亞問題 一卷一號、九號 (東京、生活社刊)

同仁 十二卷一號、十二號 (東京、同仁會刊)

同仁會醫學雜誌 (同仁改題) 十三卷一號、十二號 (東京、同仁會刊)

東方學報 京都 九冊 十冊 一分、三分 (京都、東方文化研究所刊)

東方學報 東京 八冊 十冊 十冊之一、二 (東京、東方文化學院刊)

- 東方文化 三號—五號 (東京、東方文化學院刊)
- 東洋 四十一號—四十二號 (東京、東洋協會刊)
- 東洋音樂研究 一卷二號—四號 (東京、東洋音樂學會刊)
- 東洋學研究 七號 (東京、駒澤大學東洋學會刊)
- 東洋學報 二十五卷二號—四號、二十六卷一號 (東京、東洋協會)
- 東洋建築 二卷一號—三號 (東京、相模書房刊)
- 東洋史會紀要 第三冊 (東京、東洋史會刊)
- 東洋史研究 三卷三號—六號、四卷一號、二號 (京都帝國大學文學部)
- 東洋思想研究(早稻田大學東洋思想研究室年報) 第二 (津田左右吉編)
- 東洋文化 百五十九號—百六十八號 (東京、東洋文化學會刊)
- 南方土俗 四卷四號、五卷一、二合號 (臺北帝國大學土俗人類學研)
- 日華佛教研究會年報 第三年 (京都、同會刊)
- 日本大學文學科研究年報 六輯 (東京、日本大學文學科刊)
- 日本佛教學協會年報 第十一年 (京都、大谷大學內、日本)
- 服部報公會研究抄錄 五輯、六輯 (東京、服部報公會刊)
- 美術研究 七年一號—十二號 (東京、帝國美術院附屬美術研究所編)
- ビタカ 六年一號—十二號 (東京、大藏出版株式會社刊)
- 一橋論叢 二卷一號—六號、三卷一號—六號、四卷一號—六號 (東京商科大學一)
- 佛教研究 二卷一號—六號 (佛教研究會編 東京、大東出版社刊)
- 文化 五卷一號—十二號 (東北帝國大學文科會編 東京、岩波書店刊)
- 文科 三卷一號—十二號 (東京、文科學會刊)
- 文學研究 三十五輯—三十六輯 (九州帝國大學法文學部文學研究會刊)

- 文藝春秋 十六卷一號—二十號 (東京、文藝春秋社刊)
- 寶雲 二十一冊—二十三冊 (京都、寶雲舍刊)
- 法學協會雜誌 五十六卷十號 (高柳賢三編輯、東京、法學協會事務所刊)
- 法律論叢 十七卷一號—九號 (東京、明治大學內、明大學會刊)
- 滿洲史學 一卷三號—二卷三號 (奉天、滿洲國立博物館內、滿洲史學會刊)
- 滿鐵調查月報 十八卷一號—十二號 (大連、南滿洲鐵道株式會社刊)
- 滿蒙 十九年一號—十二號 (大連、滿洲文化協會刊)
- 滿蒙史論叢 第一輯 (京都、日滿文化協會刊)
- 密教研究 六十五號—六十七號 (高野山大學內、密教研究會刊)
- 民族學研究 四卷一號—四號 (日本民族學會編 東京、三省堂刊)
- 明大商學論叢 二十三卷四號 (東京、明治大學商業研)
- 蒙古(善隣協會調查月報改題) 一號(三三號)—九號(三二號) (東京、善隣協會刊)
- 蒙古學 第二冊、第三冊 (東京、善隣協會刊)
- 日本文化 十二號—十五號 (丹波市、天理圖書館刊)
- 夢殿 第十八冊 (法隆寺、鶴岡舍刊)
- 鷹鴨學徒 一輯 (東京、鷹鴨學會刊)
- 龍谷學報 三百二十一號—三百二十三號 (京都、龍谷大學內、龍谷學會刊)
- 龍谷史壇 二十一號、二十二號 (京都、龍谷大學史學研究會刊)
- 立命館文學 五卷一號—六號 (京都、立命館出版部編並刊)
- 歷史 十三號—十六號 (東京、白揚社刊)
- 歷史學研究 八卷一號—十二號 (東京、歷史學研究會刊)
- 歷史教育 十二卷十號—十二號、十四卷二號—九號 (東京、歷史教)

歷史公論 七卷一號—十三號 (東京、雄山閣刊)

歷史地理 七十一卷一號—六號、七十二卷一號—六號 (東京、日本歷史地理學會刊)

歷史と地理 三十九號—五十號 (東京、富山房刊)

露西亞月報 五十一號—五十九號 (東京、外務省調查部第三課刊)

☆

稻葉博士 還曆記念 滿鮮史論叢 京城、稻葉博士還曆記念會刊

植木博士 還曆記念 國史學論集 東京、國學院大學內、植木博士還曆記念祝賀會刊

大阪漢學大會研究報告 石濱純太郎編 大阪、典籍之研究社刊

小林教授 還曆記念 史學論叢 東京、立教大學史學會刊(即史苑十一卷三、四號)

史學論叢 京城帝國大學文學會編、第七輯 東京、岩波書店刊

大黃河 大阪毎日新聞社編

日本諸學研究 第一輯—第四輯 日本文化中央聯盟編 東京刀江書院發行

日本諸學振興委員會研究報告 第一—四篇 文部省教學局刊

山下先生 還曆記念 東洋史論文集 榎溪會編 東京、六盟館刊

楊子江 大阪毎日新聞社編 (以上昭和十三年刊)

アジア文化 廣島文理科大學精神科學會編 東京、目黒書店刊

アジア問題講座 一、—十二、東京、創元社刊

近世日本の儒學 東京、斯文會刊

現代支那講座 第一、二講 上海、東亞同文書院支那研究部刊

語文論叢 京城帝國大學文學會編 東京、岩波書店刊

世界の現勢より見たる 史的論叢 廣島文理科大學內、廣島史學研究會編

東亞學 一輯 東京、日光書院刊

東亞論叢 一輯 東京、文求堂書店刊

東西交涉史論 上、下卷 東京帝國大學文學部內史學會編 富山房刊

本邦史學史論叢 上、下卷 東京帝國大學文學部內史學會編 富山房刊

南支那 大阪毎日新聞社編

龍谷大學佛教史學論叢 (以上昭和十四年刊)

支那之部

文學年報 四期 (北京、燕京大學國文學會刊)

史學年報 二卷五期(總數十期) (北京、燕京大學史學會編)

古學叢刊 一期—五期 (北京古學院刊)

北京近代科學圖書館々刊 三號—五號 (北京、同館刊)

回教 一卷二期—六期 (北京、中國回教總聯合會華北聯合總部編)

東方文化月刊 一卷一期—五期 (北京、東方文化月刊社刊)

朔風 一期、二期 (北京、東方書店刊)

教育學報 一期—三期 (北京、中華民國教育總會刊)

國立中央研究院歷史語言研究所集刊 七本四分 (長沙、商務印書館刊)

輔仁學誌 七卷一二合期 (北京、輔仁大學圖書館刊)

輔仁文苑 二輯 (北京、輔仁大學文苑社刊)

說文月刊 一卷一期—十二期 (上海、說文月刊社刊)

學文 一期 (北京、學文月刊社刊)

燕京大學圖報 百八期—百三十一期 (北京、同館刊)

燕京學報 二十三期、二十四期 (燕京大學哈佛燕京學社刊)

分類表

1 一般史	一頁
一通論	
二史籍	
三通史·時代史	
四諸國史 東方·南方·西方·北方	
五傳記	
2 歷史地理	二三
一通論	
二古籍	
三古地理	
四方志	
五遊記	
3 社會史	二〇
一通論	
二階級	
三家族	
四戶籍	
五人口	
六部落團體	
4 經濟史	三三
一通論	
二土地制度	
三產業	
四商業	
五交通·貿易	
六貨幣·金融	

5 政治史	六
七財政	
一政治	
二列強關係	
6 法制史	三
一法律	
二制度	
7 宗教史	三
一通論	
二支那古代宗教	
三道教	
四佛教 總記·典籍·教學·佛教史	
五印度諸宗教·哲學·梵文學	
六基督教	
七祇教·摩尼教	
八回教	
8 學術思想史 附教育	四
一通論	
二群經	
三諸子	
四日本·朝鮮漢學	
五教育	
9 科學史	五一
一通論	
二天文·曆術	
三算數	
四醫學·藥學·博物	
10 文學史 附音樂	五

11 美術史	一通論	五七
二 建築		
三 彫刻		
四 繪畫		
五 書道		
六 工藝		
12 考古學	一通論	六四
二 舊石器時代		
三 新石器時代		
四 青銅器時代		
五 鐵器時代		
13 金石古文書學	一通論	六七
二 甲骨文		
三 金文		
四 石刻		

14 民族學	一通論	充
二 民族		
三 習俗		
四 神話傳說口承文藝		
五 信仰		
15 語言文字學	一通論	七四
二 古籍		
三 形義		
四 音韻		
五 文法		
六 語源志		
七 國語問題		
八 諸國言語		
16 書誌學	一通論	六八
二 書目解題		
三 版本校勘		
17 雜纂		六八
18 學界消息		六八
19 補遺		六八
附錄批評紹介		六五

CONTENTS.

List of Periodicals.....	ii.
--------------------------	-----

Part I. Articles.

I	History	1.
II	Geography	4.
III	Society	6.
IV	Economy	6.
V	Polity.....	7.
VI	Law & Constitution	8.
VII	Religions	8.
VIII	Philosophy	11.
IX	Sciences	12.
X	Literature & Music	13.
XI	Fine Arts.....	15.
XII	Archaeology	18.
XIII	Epigraphy, Palaeography & Numismatics	20.
XIV	Ethnography	21.
XV	Philology	23.
XVI	Bibliography	25.
XVII	Chronicle	26.

Part II. Reviews of Books.

I	History	28.
II	Geography	35.
III	Society	38.
IV	Economy	38.
V	Polity.....	40.
VI	Law & Constitution	41.
VII	Religions	42.
VIII	Philosophy	49.
IX	Sciences	52.
X	Literature & Music	53.
XI	Fine Arts.....	59.
XII	Archaeology	63.
XIII	Epigraphy, Palaeography & Numismatics	65.
XIV	Ethnography	67.
XV	Philology	70.
XVI	Bibliography	75.
XVII	Miscellanies, Series & Periodicals	76.
XVIII	Chronicle	79.
	Authors' Index	80.

List of Periodicals.

- ABIA* : Annual Bibliography of Indian Archaeology, Vol. 11, 1938; Vol. 12, 1939.
- ABORI* : Annals of the Bhandarkar Oriental Research Institute, Vol. 19, 1939.
- Anth.* : Anthropos, Band 33, Heft 1/2, 3/4, 1938.
- APAW* : Abhandlungen der Preussischen Akademie der Wissenschaften, Jahrgang 1938, 1—12.
- AR* : The Asiatic Review, Vol. 34, 1938; Vol. 35, 1939.
- BEFEO* : Bulletin de l'École Française d'Extrême-Orient, Tome 37—(1937) 1938; Tome 38, fasc. 1.—(1938) 1939.
- BM* : The Burlington Magazine, Vol. 72, 73, 1938; Vol. 74, 75, 1939.
- BMFJ* : Bulletin de la Maison Franco-Japonaise, Tome 10, 1938.
- BMQ* : The British Museum Quarterly, Vol. 12, 1938; Vol. 13, 1939.
- BSOS* : Bulletin of the School of the Oriental Studies, Vol. 9, Pt. 2, 3. 1938; Vol. 9, Pt.4, Vol. 10, Pt. 1, 1939.
- Canton* : Canton, Vol. 1, No. 1—6, 1939.
- CSPSR* : The Chinese Social and Political Science Review, Vol. 21, No. 4—Vol. 22, No. 3. 1938; Vol. 22, No. 4—Vol. 23, No. 3. 1939.
- ESA* : Eurasia Septentrionalis Antiqua, Vol. 12, 1938.
- FM* : Finskt Museum, 45, 1938.
- HJAS* : Harvard Journal of Asiatic Studies, Vol. 3, 1938; Vol. 4, 1939.
- JA* : Journal Asiatique, Tome 230, No. 1—3, 1938.
- JAOS* : Journal of the American Oriental Society, Vol. 58, 1938; Vol. 59, 1939 & Supplement to Vol. 59.
- JBBRAS* : Journal of the Bombay Branch of the Royal Asiatic Society, Vol. 14, 1938; Vol. 15, 1939.
- JNCB* : Journal of the North China Branch of the Royal Asiatic Society, Vol. 69, 1938; Vol. 70, 1939.
- JRAS* : The Journal of the Royal Asiatic Society, 1938, 1939.

- MFEAB* : The Museum of Far Eastern Antiquities, Bulletin No. 10, 1938; No. 11, 1939.
- MN* : Monumenta Nipponica. Vol. 1, 1938; Vol. 2, 1939.
- MRDTB* : Memoirs of Research Department of the Toyo Bunko (The Oriental Library), No. 10, 1938.
- MS* : Monumenta Serica, Vol. 3, 1938; Vol. 4, fasc. 1, 1939.
- MSOS* : Mitteilungen der Ausland-Hochschule an der Universität Berlin (früher Seminal für Orientalische Sprachen), Jhrg. 41, 1938. Ostasiatische Studien.
- NIA* : New Indian Antiquary. Vol. 1, No. 1, 1938.
- OLD* : Oriental Literary Digest. Vol. 1, No. 1—6, 1937; No. 7—12, 1938.
- OZ* : Ostasiatische Zeitschrift, Neue Folge, Jhrg. 13 (92), Heft 6—Jhrg. 14, (93), Heft 1, 1938; Jhrg. 14 Heft 2/3, 1939.
- RA* : Revue Archéologique, 6 Série, Tome 11, 12, 1938; Tome 13, 1939.
- RAA* : Revue des Arts Asiatiques, Tome 12, 1938; Tome 13, 1939.
- RHR* : Revue de l'Histoire des Religions, Tome 119, 1938; 120, 1939.
- Sin.* : Sinica, Jhrg. 13, 1938; Jhrg. 14, 1939.
- SM* : Suomen Museo, 45, 1938.
- SMYA* : Suomen Muinaismuistoyhdistyksen Aikakautkirja, 41, 42, 1938.
- SPAW* : Sitzungsberichte der Preussischen Akademie der Wissenschaften, Phil.-hist. Klasse.
- TP* : T'oung Pao, Tome 34, fasc. 1/2, 3, 4, 1938; fasc. 5, 1939.
- YJSS* : Yenching Journal of Social Studies, Vol. 1, No. 1, 1938.
- ЗИВАН* : Записки Института Востоковедения Академии Наук СССР, 6, 1937; 7, 1939.
- ZDMG* : Zeitschrift der Deutschen Morgenländischen Gesellschaft, Bd. 92 (Neue Folge 17), 1938; Bd. 93 (Neue Folge 18), 1939.

*

- ТИСАраб* : Труды первой сессии арабистов 14—17 июня 1935.
(Труды Института Востоковедения, XXIV), 1937.

昭和十三、四年度東洋史研究文獻類目

1 一般史

一通論

0001	東洋史上に於ける印度・支那及び日本の特殊性に就いて 白鳥庫吉 日本諸學振興委員會研究報告第四篇(歷史學)
0002	支那を指す稱呼の由來 横田整三 歷史公論七卷十三號
0003	所謂「支那」の語意 香月梅外 支那三十卷十號
0004	東西交渉史上より觀たる遊牧民族 白鳥庫吉 東西交渉史論上卷
0005	支那文化の同化力説に就いて 羽田亨講 東洋史研究三卷六號
0006	支那文化の性格と経緯 森次勤 滿蒙十九卷五月號
0007	支那文化の心理學的解剖 ウイクトール・フレン 支那三十卷八號
0008	現代支那と古典文化 山田厚 支那研究五十號
0009	支那國民性十六講 鹽谷溫 文藝春秋十六卷十六號
0010	支那民族性の再吟味一、二 伏見義夫 地理教育三十一卷一、二號
0011	支那の興亡より見たる國民性の實例 安岡正篤 東洋四十一卷十一號
0012	大連圖書館所藏支那民族性關係文獻抄録 書香百九號
0013	回教諸國の國民性 「トルコとイランを主として」 内藤智秀 日本諸學振興委員會研究報告第四篇(歷史學)
0014	章學誠の史學思想 井貫軍二 山下先生還曆記念東洋史論文集
0015	日本に於ける支那研究 秋山謙藏 アジア問題講座十一
0016	日本に於ける支那學の使命 津川左右吉 中央公論五十四編三號

右批評 鈴鹿照吉 文科四卷三號

0017 東洋は存在しないか 小野清一郎 中央公論五十四編十二號

0018 文學博士津田左右吉先生著「支那思想と日本」に對する

一駁論 田所義行 斯文二十一編五號

0019 東亞の再認識 矢野仁一 支那三十卷十一號

0020 時局と支那學 曾我部靜雄 外交時報八百三十六號

0021 アジア史の新編成と日本史の新段階 秋山謙藏 歷史教育十三卷八號

0022 最近に於ける我が東洋史學の支那に與へし影響について 鈴木俊 本邦史學史論叢下卷

0023 歷史學關係邦書支那譯目錄 佐藤三郎 歷史學研究九卷十號

0024 日本漢學家事略簡述 陳紹編 東方文化月刊一卷二期

0025 歐米に於ける支那研究 石田幹之助 アジア問題講座十一

0026 德國人之漢學研究一、二、三 韓奎章 東方文化月刊一卷一、二、三期

0027 アメリカ支那學瞥見その他 岩村忍 中國文學月報五十五號

0028 華北青年の中國史學研究 滿蒙 二十年十號

0029 支那事變を中心に支那人が語る日本及支那 收書月報三十號

0030 外誌に現はれた日本及支那 收書月報三十二號

0031 國民教育に於ける外國史の教材 淺海正三 歷史教育十三卷四五、七、八九號

0032 日本的東洋史教育の建設 瀧川政治郎 歷史教育十四卷六號

0033 昨年度の歷史學界(1937年11月30日) 東洋史部會 歷史學研究八卷一號

0034 昨年度の歷史學界 東洋史部會 歷史學研究九卷一號

0035 昭和十三年度日支定期刊行物東洋史研究文獻目錄六

二二 二二 三五 二〇 二 一 五 三三 三 三 二六 一八 一四 三 一四 二六 二 一 五 一九 五

〇七五 清史稿纂修之經過 張爾田講稿、王鍾翰序錄 史學年報二卷五期
 〇七六 清史稿正誤表 小竹文夫 支那研究四十八號
 〇七七 乾隆時代の戰爭畫に就いて 御題平定伊犁回部全圖を主として 鳥山喜一 朝鮮二百八十一號

〇七八 清高宗御題平定伊犁回部全圖 書香 百十二號

〇七九 故宮文獻館所藏之清代外交史料 張德澤 輔仁學誌八卷二期

〇八〇 清三通之研究 王鍾翰 史學年報二卷五期
 〇八一 「日本國志」に就いて 有高巖講 史潮第八年四號

〇八二 日本國志と吾妻鏡補 石原道博 歷史學研究八卷十二號

〇八三 朝鮮全州史庫實錄の移動と宣祖の實錄複印 丸龜金作 史學雜誌四十九號
 編六號

〇八四 滿文蒙古源流その四—その十 江實譯 善隣協會調查月報六十八號
 〇八五 蒙古源流雜攷 山本守 滿洲史學二卷一、三、四號

三 通史・時代史

〇八六 アジア史論 白鳥庫吉 アジア問題講座七

〇八七 亞細亞諸民族の隆替 有高巖 歷史教育十三卷八號

〇八八 アジア大陸史の二大樞軸 中山久四郎 歷史教育十三卷八號

〇八九 東洋史の全體觀 杉本直治郎 日本諸學振興委員會研究報告 第四篇(歷史學)

〇九〇 東洋史上に於ける時代區分の再檢討と時局の認識 杉本直治 史的論叢

〇九一 支那史論 和田清 アジア問題講座七

〇九二 歷史より觀たる支那の統一と分裂 加藤繁講 東方學報東京第九冊

一〇〇九三 支那の歴史的變遷と現狀 山崎宏・淺海正三 歷史教育十三卷十一號

三〇〇九四 支那民族の消長 橋本增吉 歷史教育十三卷一號

一〇〇九五 外來支配民族と漢民族との接觸に關する一考察 日野開 日本諸學振興委員會研究報告 第四篇(歷史學)

一六 中國史的年代 衛聚賢 說文月刊一卷五、六合期

一 〇〇九六 歷代帝王短祚與多欲之關係 朱右白 說文月刊一卷八—十二期

一七 〇〇九七 支那史上の金力と智力並に唐宋二代の忠義の人 中山久 四郎講 史潮第九年四號

三六 〇〇九八 日滿支の古代關係に就て 佐瀨雄山 朝鮮二百九十四號

一 〇〇九九 支那帝業の五大代表 祖一、漢の高祖 二、唐の太宗 三、元の世祖 四、明の太祖 五、清の聖祖 今關天 彭 東洋四十二年九號

二七 漢唐帝業の沒落 今關天彭 東洋四十二年十號

一七二 〇一〇一 元明清帝業の沒落 今關天彭 東洋四十二年十一號

四〇 〇一〇二 支那古代史の一觀察 重松俊章 史淵十九輯

〇一〇三 最近に於ける若干の成果より見たる支那古代史研究の動向 宇原敏治 歷史學研究八卷五、九、十一號

一五六 〇一〇四 夏殷周に就て 香山陽坪 京城帝大史學會誌十二號

一五 〇一〇五 夏民族起於西北補證 衛聚賢 說文月刊一卷二期

七 〇一〇六 漢民族の黃河降り 石川三四郎 大黃河

六 〇一〇七 禹生石紐考 陳志良 說文月刊一卷十二期

六〇 〇一〇八 大康失國與少康中興 呂思勉 說文月刊一卷二期

七 〇一〇九 殷と商 相良克明 東洋史會紀要第三冊

四五

一〇

七

二六

三七

四

一〇

五

六

二八

五

一五

四

五

一五

二

六

三

三

三

三

三	右批評	吉川 史學雜誌五十編四號
二九	宋世風俗	宮崎市定講 東洋史研究四卷二號
三二	榷房と禁房と牢房	曾我部靜雄 文化五卷九號
〇二三	南宋の末路	有高巖 南支那
二二	遼室君主權の成立に關する一考察	小川裕人 東洋史研究三卷五、六號四卷一、二號
八	遼代の國舅帳について	橋口兼次 史學雜誌五十編二、三號
五七	契丹の燕雲十六州領有とその史的意義	朴時亨 京城帝大史學會誌十三號
〇二六	燕雲十六州—解說—	外山軍治 東洋史研究四卷四・五號
五	遼の太宗北支進出の一考察	田村實造 蒙古學第三冊
二六	金初に於ける麗金關係	三上次男 歷史學研究九卷四號
〇二九	劉豫の齊國を中心として觀たる金宋交渉	外山軍治 史論叢第一
七三	金熙宗朝に於ける蒙古の侵寇	外山軍治 蒙古學第二冊
三三	金熙宗皇統年間に於ける宋との媾和	外山軍治 滿蒙史論叢第二
九	黃河河道を繞る金宋の交渉	外山軍治 大黃河
六	金代中期に於ける女真文化の作興運動	三上次男 史學雜誌四十九編九號
三三	金の海陵王、燕京遷都の意義	田村實造講 東洋史研究三卷六號
六	金正隆大定年間に於ける契丹人の叛亂	三上次男・外山軍治 東洋學報二十
八	六卷三、四號	
一六	大元帝國論	有高巖 アジア問題講座七
三九	明朝と帖木兒帝國との關係に就いて	村上正二 イスラム三輯
〇二四	崇禎帝之撤像及信仰	牟潤孫 輔仁學誌八卷一期
九	明西北歸化人世系表	張鴻翔 輔仁學誌八卷二期

〇一五〇 明末の遼餉 清水泰次 東洋經濟研究二十二卷二號

〇一五一 南支に於ける殘明の形勢 今關天彰 東洋四十二年一號

〇一五二 日本乞師失敗の原因に就いて 石原道博 歷史學研究八卷十號

〇一五三 國姓爺の南支經略と糧餉問題 石原道博 東洋四十二年一號

〇一五四 國姓爺の南京攻略一、二、三 石原道博 歷史教育十三卷一、二號

〇一五五 國姓爺北征始末 石原道博 歷史公論八卷二號

〇一五六 明末清初請援南海始末 石原道博 史潮第九年三號

〇一五七 張煌言の江南經略 石原道博講 史學雜誌四十九編七號

〇一五八 大清帝國論 稻葉君山 アジア問題講座七

〇一五九 清の太祖と李成梁との關係 和田清 稻葉博士還曆記念滿鮮史論叢

〇一六〇 李成梁と其の一族に就て 岡田一雄 東洋學報二十六卷一號

〇一六一 清太祖の都城遷移問題 戸田茂喜 史學研究十卷一、二號

〇一六二 容親王が史可法に與ふるの書 アジア問題講座七

〇一六三 容親王多爾袞を中心として見たる清朝初期の繼嗣について 前島又次 山下先生還曆記念東洋史論文集

〇一六四 三藩の由來と大亂の動因に就いて 田中懋徳 山下先生還曆記念東洋史論文集

〇一六五 Fan Wen-ch'eng 范文程 1597-1666, und sein Diplom 命 W. Fuchs 史學研究十卷三號

〇一六六 恭王府沿革考略 單士元 輔仁學誌七卷一、二期合刊

〇一六七 嘉慶丙寅上諭中之賀清泰 馮承鈞 輔仁學誌八卷二期

〇一六八 嘉慶年間の英國の澳門占領について 中江健三 史淵十九輯

〇一六九 右批評 吉川 史學雜誌五十編四號

三〇二六 嘉慶年間の英國の澳門占領について一 中江健三 歷史學研究九卷十號

八〇二七 阿片戰爭の史的位 河原田耕 歷史十五號

一六〇二七 英法聯軍佔據廣州始末 陸欽舉 史學年報二卷五期

九〇二七 南京條約前後の英支關係 神谷龍男 支那三十卷十一號

四〇〇二七 太平天國の亂についての一省察 信夫清三郎 歷史十三號

八〇二七 太平軍再克武昌之史料 曹宗儒 東洋史研究四卷三號

三〇二七 日本に於ける太平天國史料 增井經夫講 史學雜誌五十編七號

〇二七六 獨逸の青島經略 書香百三號

二〇二七 圓明園離宮事件 一英佛聯合軍のヴァンダリズム一、二 一氏義良 東洋四十一卷六、七號

二〇二七 義和拳匪亂と日露 田保橋潔 東西交涉史論下卷

三〇二七 辛亥革命論 大西齋 アジア問題講座一

四〇二八 歷史篇(現代支那史) 小竹文夫 現代支那講座第一講

三〇二八 國民革命の史的考察 有高巖 歷史教育十三卷三號

二〇二八 國民革命以後の列強と支那 尾崎秀實 アジア問題講座一

二〇二八 支那の大戦參加を繞る國際關係 江口朴郎 歷史學研究九卷十號

二〇二八 東洋史より觀たる支那事變の意義 矢野仁一 歷史教育十三卷三號

四 諸國史

一 東 方 日本國號私見 岩井大懋 日本諸學振興委員會研究報告 第四篇

八〇二八 日本國號私見 岩井大懋 東亞學一輯

二〇二八 支那正史の倭傳・日本傳の研究法 鈴木俊 歷史公論七卷四號

二〇二八 支那の文獻に見えたる日本及び日本人 市村資次郎講 東方學報東京第八冊